

令和4年度学校評価の集計結果について

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

本校は、教育目標である「1 将来の地域産業を担い、地域の発展に貢献できる人材を育成する。 2 産業技術の専門化、高度化、国際化に柔軟に対応できる将来のスペシャリストを養成する。 3 礼節を尊び心身ともに健康で、人間性豊かな職業人を育成する。」という3つの観点に基づいて運営されている。

1) 生徒に対して

①学習指導の充実

生徒を引きつける授業、わかる授業と適切な評価

②進路指導の充実

生徒に一つ上のレベルの将来（進路）を意識させる⇒キャリア教育

③生徒指導の充実

規律の遵守、社会生活に必要なマナーや社会性をはぐくむ、自己指導能力の涵養

2) 保護者に対して

普段から連携と信頼関係の構築⇒必要な連絡を迅速にとり誠意ある態度で接する。

3) 地域に認められる学校づくりの推進

①情報発信（報道関係との連携・HPの見やすさの工夫と更新）

②地域貢献、学習内容の延長として

4) 行事の精選

特別活動・各学科等で教育課程への明確な位置づけと取捨選択する。

5) 職員

①働き方改革推進

②チーム北陵・目標の共有・働きやすい職場

6) 新しい動きへ対応

①R4 新教育課程の検討

②大学入試制度・調査書・指導要録・ポートフォリオ／キャリアパスポートの検討

③タブレットの活用

④統合型校務支援システムの活用

⑤ユネスコスクール認証後の活動

(2) 評価項目

①基礎学力の向上、学習指導方法の研究、資格取得の推進

②挨拶の励行、交通事故防止、情報モラル育成に向けた生徒指導

③地域に根ざす活動の充実、部活動の加入促進、地域への情報発信

(3) 評価の観点、評価基準等

①学習や資格取得のための指導体制が整っているか。

基礎学力の向上を目指した学習指導が行われているか。

学科の特性を生かした指導や資格取得の指導に積極的に取り組んでいるか。

効果的な教科指導が行えるよう研修に取り組んでいるか。

② 高校生としてのマナーや規範意識・危機管理能力が身に付いているか。

挨拶の大切さや高校生としてのマナーを適切に伝えているか。

交通安全教育や情報モラル育成が適切に行われているか。

いじめの早期発見・再発防止のための取組が適切に行われているか。

③ 部活動や地域に根ざした活動等が活発に行われているか。

部活動や校内活動のための指導体制や環境が整備されているか。

地域貢献・地域連携活動の一層の推進がはかれたか。

学校の様子や特色を地域にわかりやすく伝えているか。

(4) 評価実施時期及び実施方法

10月 授業アンケート

11月 生徒・保護者・教職員それぞれに対して「学校評価に関するアンケート」

1月 年度末各部・学科・学年の努力目標・具体策の評価

(5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

1月 学校評議員会で報告

3月 学校ホームページに公表

7月 P T A新聞に掲載

(6) 評価結果

① 各学科・教科・学年を中心に、生徒の実態に応じた取り組みができた。また GIGA タブレットを活用した授業実践の校内研修を行うなど、組織的な支援ができた。進路指導では社会情勢の変化に対応した指導を行うことができた。

② 生徒指導において、学級担任やスクールカウンセラーによる面談を充実させ、生徒理解に努めた。交通事故防止、事故後対応などの指導が喫緊の課題である。

③ 部活動や地域連携はコロナ禍の影響を受け、制限の多い実施となった。対外的な活動再開に向けた準備を行うことができた。

(7) 評価結果に基づく今後の改善方策等

① 個人の特性や学科の特徴を活かした学習指導の充実と、社会情勢の変化に対応した進路指導を実践していきたい。

② 今年度も交通事故が発生しており、注意喚起を繰り返し行い、指導体制を強化する。

③ さらに検討を重ね、生徒の成長を支える学校行事を計画・実施していきたい。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

学校評議員会（P T A代表を含む）

（２）評価時期及び実施方法

- １月 学校からの各取組の報告、各部・学年・学科による自己評価、及び生徒・保護者・教職員によるアンケートの結果等を参考として総合的に評価する。

（３）評価結果の公表時期及び公表の方法等

- ３月 学校ホームページに公表
７月 ＰＴＡ新聞に掲載

（４）評価結果

以下のような評価をいただいた。

- ・交通事故について。教員や保護者による危険個所における立証指導は実施しているか。安全教育は行っているか。４月、５月の指導の徹底を。
- ・学校の存在感をどのようにして高めるか。在校生の満足感を高めるため今いる生徒をしっかりと育てる。学科横断的に生徒を育てる。外部へのアプローチ、働きかけをもっとうまく行うべき。普通科の学校よりもアピールがしやすい。生き残るべき学校なので、良い取り組みをアピールするとよい。
- ・１５歳にとって進路選択、職業選択は難しい。入ってから学科の学習へのモチベーションを維持するためにはどのようなことを行っているか。
- ・事前に準備された論文などはよいが、一般教養が不足している。臨機応変な対応や基本的な教養を身に着けてほしい。

（５）評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・交通事故防止、マナーの改善については、街頭指導の機会を増やすなど、指導を強化する。
- ・中学生への情報発信、魅力を理解してもらうためホームページ等をさらに充実していきたい。
- ・在校生にとって魅力ある授業実践に力を入れるとともに、実習等を通して社会人として必要な資質の向上を図っていきたい。

３ 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

（１）提供内容

進路状況、生徒指導・学習指導の現状、学校行事・部活動・学科・農業クラブ・家庭クラブなど生徒の活動状況、ＰＴＡの活動状況など。

（２）提供方法

ＰＴＡ新聞、本校ホームページ、同窓会報、生徒会誌、地域発行新聞、ＰＴＡ総会、同支部会、同役員会、同窓会総会、同役員会、学校祭、保護者会、学級通信など